

授業科目：口腔衛生学，衛生学

担当教員：川戸 貴行，田中 秀樹，中井久美子

授 業 の ね ら い	<p>高齢化が進むわが国では，日常生活が制限される原因となり得る生活習慣病の対策が急務とされており，歯・口腔の疾病の予防を介して全身の健康に寄与する口腔衛生学の意義が高まっている。一方で，科学的根拠をもとに進められる保健活動においては，口腔の健康と全身の疾病・異常との関連性に関する科学的なエビデンスが常に求められている。</p> <p>当講座では，疫学分野から最新の細胞・分子生物学分野までの幅広い手法を用いて，口腔の疾患が糖尿病をはじめとする生活習慣病に影響するメカニズムを明らかにするための研究を企画立案している。当講座で学ぶ大学院生には，下記のテーマに沿った研究を通して，科学の進歩に貢献する研究成果があげられるような知識と技術を自ら習得してもらいたい。当講座の教員は，大学院生が示した研究成果を国際的な学術雑誌で発表できるように責任をもって指導する。</p>
テ ー マ	<p>テ ー マ</p> <ol style="list-style-type: none">1. 歯周病とメタボリックシンドロームの発症・増悪との関連性を解明する総合的研究2. 終末糖化産物の増加とメタボリックシンドローム指標の悪化に及ぼす歯周病の影響の解明3. 歯周病に着目した非肥満型メタボリックシンドローム予防に関する研究4. 歯周病に関連する炎症性物質が脂肪組織の悪玉化に及ぼす影響の解明5. 糖尿病と薬剤関連顎骨壊死の発症に関する細胞生物学研究6. 電動歯ブラシ由来の振動が歯肉線維芽細胞による細胞外基質タンパク代謝に及ぼす影響7. 口臭関連物質が歯槽骨代謝に及ぼす分子機構の解明
内 容	<p>内 容</p> <p>疫学研究に加え，動物モデル，細胞・分子生物学分野の最新の研究手法を取り入れた研究を行う。日頃の研究経過については，講座枠を越えた研究グループによる研究報告会を毎月開催し，討論を通して理解を深める。研究成果は，国内外の関連学会で随時発表し，学位論文は，impact factor を有する国際的な学術雑誌に筆頭著者として発表した原著論文を基幹とした総括論文の形式でまとめる。</p>
成 績 評 価	<p>成 績 評 価</p> <p>学会発表（筆頭発表者を重要視），論文発表および研究報告会でのディスカッション内容等から総合的に評価する。</p>
そ の 他	<p>そ の 他</p>